



広報のまち



7 月号

No. 129

市制特集

市制施行式 8月1日

8月28日 記念式典

登別市誕生

第2回定例道議会は6月30日から7月20日の日程でおこなわれ、そのなかで総務委員長より、登別町は市としての要件がすべてそろっているとの報告がなされ、同18日満場一致で可決されました。ここに町民の待望であった登別市が8月1日より誕生することになりました。

未来へ夢と希望を

登別町議会議長 南 邦夫



住民のみなさまとともに、登別市制実現を心からおよこび申しあげます。この記念すべき70年代の初めにわたしたちが輝かしい将来を期待され、市制が施行されるということは、開拓いらい苦節百年の歴史の変遷のなかに、先人が残された努力の積みかさねがここに結実したものであり、さらに4万6千住民の多年にわたる願望がここに遂げられたわけでありましてまことに感無量なことです。かえりみますと昭和26年、町制施行いらい住民のみなさまの積極的な、ご努力とご協力により道内屈指の中堅都市として、今日の発展をみましたことは、まことにご同慶にたえないところであり、さらに市昇格を契機として将来ますます飛躍的な発展をとげるものと期待してやまない所です。どうか住民のみなさま、この恵まれた自然環境と、すぐれた歴史を有する登別がさらに未来への夢と希望を燃やし、住民福祉の基本理念に徹した豊かな経済と、かおり高い文化の育つりっぱな市の住民として、また誇りと自覚を高めて、今後の市政にいっそうのご尽力をくださるようお願いする所です。議決機関である議会といたしましても、理事者といったいとなって終始公正に市制の諸問題を慎重に審議し、住民のみなさまのご期待にそうよう努力する決意であります。

調和のとれた都市建設を

登別町長 高田 忠雄



登別市制施行にあたり、ひとこと紙上をもって、ご挨拶を申しあげます。登別町は8月1日をもちまして住民のみなさまがひとしく宿望しておりました市制施行という未来に躍進する、記念すべき輝かしい日をむかえました。これもひとえに全住民の深いご理解とご支援のたまものでありまして、関係各位のご努力にたいし、敬意を表するとともに衷心より感謝を申しあげる所です。かえりみますと、明治2年舘別村誕生いらい百有余年の歳月を経ましたが、大正8年に2級町村制が施行され、また昭和26年には町制施行と発展し、さらに今日、市制施行の記念すべき日をむかえたのでありまして、開拓精神に徹した祖先の苦闘、愛郷の念にもえたとゆまぬ努力、そして全住民の意欲的なまちづくりの成果がみごとに結実したことに思いをいたすとき、いまさらながら先人の偉大さを痛感するとともに敬意を表する所です。古い歴史と美しい自然にめぐまれた登別市が名実ともに北海道の中核都市として、ここに誕生し大いなる発展を約されたことは、まことに意義深いものがあります。今後は、新市登別の基礎をきざすため、市民憲章の精神をいかし調和のとれた都市建設を推進するため、心をあたらにして努力する所存でありますので、今後ともご指導とご協力をお願いいたしまして、ご挨拶といたします。

風雪をこらえ、
まちづくりに
への協力を
余年ここに大登別市の



建設協会
会長 相良 齊一

われわれ市民がそれぞれの立場で登別市の街づくりに協力したいと思えます。三万人の市制法案が通過し、登別町も名乗りをあげましたが新聞紙上でいろいろ指摘をうけた事があります。しかし、初めから立派な市なんてどこにもないでしょう。それをどのように努力しほこれる登別市にするかが問題でしょう。

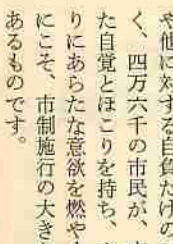
ほこれる登別市を



商工会
会長 上田 邦男

私たちの町に市制が施行されることはたいへんうれしいことで、町長はじめ、町理事者、議会議員の苦勞に感謝と敬意を表します。今後は市制施行により、経済機構もまた社会構造もますます複雑になり、これに対処するため一段と前進しなければなりません。豊かで住みよい街づくりがキーポイントで進められますが、それを実行に移すのはわれわれ市民と努めます。

開基百年を期して制定された町民憲章のなかにもある「豊かなまち、まよいまち、きれいなまち



学校長会
会長 木下 忠芳

夢の育つ
かおり高いまちを
一昨年開基百年を迎え、登別第二世紀の発足のこのときに市制が実現したことは、まことによろこばしいことです。それは、単に呼び名だけのことでや他に対する自負だけのことでなく、四万六千の市民が、市になつた自覚とほこりを持ち、まちづくりにあらたな意欲を燃やすところにこそ、市制施行の大きな意義がある所です。

誕生をみまして、まことによろこびにたえません。このよろこびは単にわれわれのものでなく、開拓に汗水を流して努力された先人各位が築いたものであり、また村づくり、町づくりにたゆまざる偉業があつて、はじめて今日の登別市が誕生したのもと思えます。今後とも、われわれは先人がのこした数しれない偉業を学び、明日への登別市発展のため、市民の繁栄と生活向上をねがい、明るく住みよいまちづくり建設を市理事者はもとより、市民がひとつになつて協力していかなければならぬと思えます。

夢の育つまち、かおり「はいまち」をつくるのが私たち市民の願いです。

その願いの結集のなかで、今後における登別市としての教育施設の充実と文化施設の完備を実現してほしいと思います。

私たち教育にたずさわるものまた心をあらたにしたいと思えます



婦体連絡
人識会
会長 高田 武子

住みよいまちは

台所から

昭和二十六年、村から町に昇格して二十年目、八月一日から市制が施行されることになり、その発展するテンポの早さに目をみはります。

広域的な経済交流その他いろいろの社会現象がもたになっていっていると思えますが、なんといいても、開拓以来、百年にわたる住民の力強い歩みが、市昇格という大きなよろこびをもたらしたと思えます

よく「政治は台所から」という言葉を書きませんが、国の政治もさることながら、ゴミ処理の問題ひとつをとっても台所と町政に深いつながりがあることがわかります

日頃、家庭に育児にと忙しい日々をすごしていますが、わたくしたち婦人の「正しい世論」が町政に反映するよう、明るく住みよいまちのまちづくりに役立つための努力をしたいと思っています。



鉄北連合町内会
会長 前川 悦郎

理想の

都市づくりを

待望の登別市が誕生したことはよろこびにたえません。

この日を迎えるに理事者と議会の努力に心から敬意を表します。昭和六十年、人口七万の理想都市建設にむかって、ますます前進するとき、福祉施策、区画整理とあわせて町名改正、住宅施策など重要課題が多くまた複雑になってくるものと思われま

さいわい昨年、策定しております「総合開発計画」には、工業、住宅、観光など各部門ごとに将来の方策をまとめた資料がありその内容について、まだ研究する余地があると思えますが、実施の時期に入ったいま登別市誕生とあいまって将来の発展を祈念するものです。



鉄南連合町内会
会長 中山 隆二郎

災害と

公害のない市に

山紫水明とまでいえないが、豊かな自然と世界にはこる温泉にめ

ぐまれた平和なこの町が市になることは、なにはともあれよろこばしいことです。

開拓当時の先人の労苦に、あらためて感謝するとともに、今日にいたるまでの町関係者の努力に敬意を表します。

むかしの幌別、のどかな寒村がこのように発展して市になるとは先人達も予想されなかつたでしょう。

市になったとはいえ、みんなが平和で健康的に生活していくためにはまだまだ足りないところがあるように思います。

この登別市を名実ともに、はすかしくないものにするため、住民一人一人が協力し、努力の歳月を積みあげなければならぬでしょう。

将来の発展を願い、災害と公害のない計画的で適確な行政と全体の努力によって、豊かな住みよいまちの都市になってもらいたいと思えます。



温泉連合町内会
会長 須賀 武夫

市として

はずかしくない市民に

いよいよわが登別町も八月一日をもって市になることは、まことによろこばしいことです。

わがまちも全国の市に仲間入りますが、市民としてははずかしくない心がかまえて持たなければなら

ないと思えます。社会面をめぐり教育、衛生など、すべての面でわれわれ市民と市長とが一致協力して明るい住みよいまちをつくりたいと思えます。

訪れる多数の観光客を親切に迎え、まちがっても「これでも登別は市か」と言われるようなことがあつては市民としてははずかしいことです。

まず、小さなことから着実に第一歩をあゆみだしていきたいと思います。



登別連合町内会
会長 秋山 有盛

先人の汗と涙の

結晶に感謝

開基百年をお祝してから一年有余私たちの登別にも、町民の多年の夢であった市制が、いま、現実に行なうことができることは、登別在住の一人として万感胸にせまるよろこびです。

世界第三の経済力を自負しても私たちの住む周辺に、その恩恵を見、肌に科学進歩の跡を感じなければ、その実感は湧いてきません

市制施行後の登別も、従前とことなることが多々あると思えますが、よろこびもあれば、苦しみもまた増えることと思えます。それを乗り越えてこそ、市民として本当のよろこびを味わうことができると思えます。

これまでの登別を築いた先人の

汗と涙の結晶に感謝するとともに登別市の名をけがさず、恥ずかしめないよう力をあわせ、りっぱになしとげるのが、我々登別住民の責任だと思えます。

私は、胸を張って登別市の誕生をよろこび、お祝い申しあげたいと思えます。



鷺別連合町内会
会長 植村 清蔵

登別は

住みよいまち

八月一日われわれ町民は、この日より市民になるわけです。

この日を迎えるまで、町長はじめ、町議会議員、地元選出国會議員はもとより、住民が一九〇一年に努力し誕生した登別市。

私はこの地に生れ、五十余年このように大きな喜びと希望を感じたことはありません。

先日、ある会合で一人の老人が「大阪がよい東京がよいといつても登別が一番住みよいまち」と言っていたが、私も同感するものとして、この地に永年住んでいるかたは、みんなこの気持をもっているものと思えます。

今後はきれいな街、犯罪のない健康な環境をわれわれの手でつくりあげ、市として充実した施設などをつくっていただき、住民一丸となり住みよいまちのまちづくりに努力して

いきたいと思います。

現在、日本全国で五六九の市があります。人口五万未満のものが二七〇市で全体の約半数を占めており、しかも三万人未満の市が三六を数えております。

これに反し人口三万人以上の町は全国で六二もありません。このような市町村の現況はそこに住むそれぞれの住民に不公平を生ずることとなるので、今日のが国の実態に即した市町村の新しい基準を作るべきであるとして、全国三万人以上の町が結束して昭和四十三年新市制実現全国期成会が結成されました。

市制実現の経過

意し、期成会副会長として二年有余の間運動を続けてきました。昨年の六一国会におきまして、三万都市法案が上提され、可決す前まで行きながら国会解散となり涙をのんだのでありますが、総選挙後の第六三回国会の冒頭に地方自治法の一部を改正する法律として上提され、三月二日衆議院、三月四日参議院でそれぞれ可決、同月十二日公布施行の運びとなりました。この改正法律は、従来人口五万人以上でない市となれなかつたものを、三万人以上であつても都市的形態を備えた町は、二年以内に申請をすれば市に昇格出来るという特別措置法であります。

登別町の人口は、昭和四〇年の

国勢調査で、すでに三九、一〇一人、現在では四六、〇二〇人で、北海道二九市のなかでも登別町より人口の少ない市は一もありません。人口の少ない市でも市であるがために、行政上、あるいは財政上、有形、無形に国の援助が多く有利の面がたくさんある訳です。

一日も早く、一刻も早く市にすることが、住民の幸せにつながるものであることを確信し、去る三月の第一回定例町議会に於て満場一致の議決を経て、北海道知事ならびに北海道議会にたいし、登別市の申請がなされました。以下、新市実現のための運動経過をお知らせします。

- ・四三年五月 新市制実現全国期成会結成、登別町長、副会長に選出される。
- ・四三年六月 第二回定例町議会で新市制実現に関する要望決議が万場一致で議決しました。
- ・四三年七月 決議書および国会議員賛同署名運動を展開し、地方行政委員会と行政部会に陳情しました。
- ・四四年三月 地方行政部会が開催、万場一致で市制に関する本案が了承されました。
- ・四四年六月 衆議院において法律案可決されました。
- ・四四年八月 国会解散のため審議が未了となりました。
- ・四五年三月 地方自治法の一部

改正法案が衆議院で可決、同四日参議院で可決、同二六日町長、議長、町議会新市制実現特別委員会正副委員長が道議会にたいし正式に陳情、同三一日道議会本会議において羽幌町、恵庭町とともに陳情を受理、総務委員会において審議されることになりました。

市になったからといって、ますますすべての面でよくなるとはいきませんが、みなさんが心配されている税金は現行の税率のままでおこなっていきます。

さらに、昨年からの固定資産税の税率を下げるなど、住民の負担を軽減しております。また市としての施設整備などについては、国と北海道の制度を最大限に活用できますので、増税など住民負担はなく、したがってマイナスになる点はありません。

町から市になることによつての利点をあげるとつぎのとおりです。●住民サービスと利益を与えることができ、行政事務がスピード化されます。

国と道の委託事務が多くなり、実施する事務、事業が増大し、住民サービスと利益を与えることができ、また行政面では町の場合、道の出先機関である胆振支庁を経由しておりますが市の場合はそのほとんどが直接道にもちこめますので、行政事務がスピード化されます。

●福祉事務がスムーズにおこなわれます。福祉事務所の設置が義務づけられ、生計保護など福祉事務がス



現地調査する自治省

向上する住民福祉

市制施行にともなう恩恵

登別町が「市」になることによつて、行政水準が高められ、特に福祉行政がきまこまかにこなわれます。

●住宅事情が緩和されます。国の公営住宅建設計画のなかで建設戸数の配分は市のほうが優先され、道営住宅とあわせて建設されるので住宅事情がよくなります。

●公安が確保されます。現在、北海道にある市には全部警察署が設けられています。当然、警察署の設置が考えられこれにより治安が確保されます。

●国と道の財政援助が拡大されます。事業などにたいして、国と道の補助金は大きな差があるものはわずかしかなかったが、限度額、打切り額などが、市と町村では別に基準を設けておりますので、同じ事業でも補助金に差があり、市のほうが有利になります。とくに起債については、その優先順位、貸付率があるのが有利です。

●商工業の振興にプラスとなります。現在、商工業者の団体である商工会がありますが、市となることによつて商工会議所を設置することが出来ます。これにより商工業の振興に大きなプラスとなります。

ここに築かれたのです。
 人口の増加、産業の発展にともなつて流通が増し、幌別・登別温泉・鶯別・登別は市街地を形成するようになり、大正八年四月二級町村制が施行され、幌別郡一円を幌別村にあらためられました。
 翌五月第一回の村議の選挙が施行され一二名の議員が選出されました。投票率九六割と自治への関心の強さを示し、ここに自治体の基礎が確立されたのです。
 大正九年、第一回国勢調査がおこなわれ、世帯数一、四四七世帯人口七、〇〇一人で、これは全道民の約〇・三割にあたります。
 昭和一八年、米馬に新日鉄社宅

登別市のあゆみ

ちょうど一〇二年、明治二年八月、幌別・鶯別・登別の三村をもつて幌別郡と定められ、翌九月には元白石城主、片倉小十郎邦憲が郡の支配を開拓役所をおき一五〇人をもつて開拓したのが登別市の夜明けとなりました。
 まもなく維新の変革によつて、本町は開拓使の所轄となり、明治一三年、幌別・鶯別・登別の三村が合同し、幌別外二カ村の戸長役場を幌別村におきました。
 その後、人口の増加にともない農林水産業に加えて商工鉱業も発達し、さらに明治二五年鉄道の開通によつて温泉開発はもとより、生産は飛躍的にのび開拓の基礎が

す。
 昭和三六年、町名を「登別町」と改称し、これを町勢躍進の転機とし、あらたなる決意で更に開発をすすめていったのです。
 その後、産業・観光の開発をはじめ、都市計画と新産業都市建設計画が着々と進められ、いまや道内屈指のまちとして人口四万数千をかぞえ、理想の郷土「登別市」の実現までに成長したのです。
 かく限らない躍進を続け、ここに登別市制実現の意義ある年に、古きをたずね、先人の偉業を学ぶとともにたくましい開拓者精神をうけついで、輝かしい登別市の未来をつくりたいものです。

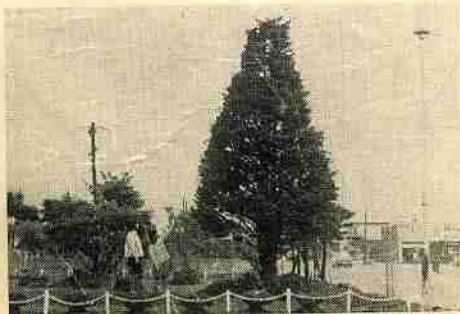
市制施行を記念して 市中パレード

8月1日は午前9時から中央公民館で、議会議員、各委員会委員、全職員があつまり、市制移行の事務処理などをしたあと、福祉事務所職員が辞令交付、本庁表示板の除幕など市制施行式がおこなわれます。また28日の記念式典は、午後9時から、幌中体育館で行ない、式典後の祝賀行事は、登別温泉地獄まつりにあわせておこない、また、市制施行を祝い各町内会を通じて各戸に記念品を配付いたします。

▷市中パレード祝賀演奏日程

- 温泉 (午前10.30出発) 地獄谷 → 温泉駅前
- 登別 (午前11.20出発) 登別駅前 → 十字街
- 登中屋体で演奏 (午後12.30~1.10)
- 鶯別 (午後12.20出発) 室ハイ橋 → 鶯別駅前 → 上鶯別内田商店
- 鶯別公民館で演奏 (午後1.40~2.20)
- 幌別 (午後1.40出発) 市役所前 → 十字街 → 富士橋 → 新日鉄米馬社宅
- 中央公民館で演奏 (午後2.50~3.30)

寄贈された
みことなオンコ



地となり。以上のようになりますので住所などは北海道登別市〇〇町〇〇番

八月二八日(金)は、市制記念式典及び行事をおこないますので、当日市役所の業務と各支所、保育所は休みとなります。

市役所の 休日について

NHK 放送される
 七月三十一日(金)
 午前七時二〇分から
 午前七時三十分まで
 再放送は午後一時五
 分から午後二時二〇
 分まで。

八月一日から 字名変更

市制施行を機会に八月一日から、つぎのように字名が変更になります。

登別市誕生

NHK 放送される
 NHK テレビ

NHK放送では、市施行後の登別が行政上どのように変化していくか、また市民生活にどのような変化があるかをめぐり「登別市誕生」と題してテレビ放送されます。
 ・番組名 北海道の窓
 ・放送日時 七月三十一日(金)
 午前七時二〇分から
 午前七時三十分まで
 再放送は午後一時五
 分から午後二時二〇
 分まで。

市制記念に オンコ寄贈される

六月二十日、三原順一さん(札内)から役場庁舎前の庭園に、オンコが寄贈されました。

これは、八月に市制施行が実現することを記念して贈られたもので、この丹精こめたオンコ(学名、イチイ科の常緑高木でイチイの木)は、樹齢が八〇年から一〇〇年ほどたっているという、高き約七層もある大きなもので、三原さん宅から運ぶのに自衛隊のクレーン車をつかうという、おおがかりな作業でした。
 長三角形のオンコは、かぎりなく躍進する登別にふさわしく、またみちゆく住民の目も楽しませることでしょう。

市福祉事務所を設ける

きめこまかにおこなわれる福祉事務

八月一日からの市制にとまぬい福祉事務所が設けられます。これは、社会福祉事業法にもとづいて設けられるもので、従来は胆振支庁でおこなわれておりました業務を、市福祉事務所がこれにかわって、ほとんどの業務をおこないます。

したがって、福祉のしごとは早く、適切に、きめこまかにおこな

われ、生活保護、児童福祉、身体障害者福祉、精神薄弱者福祉、老人福祉、母子福祉など援護育成または、更正の措置と、いままでよりスピードアップした福祉事務がおこなわれます。

これらの業務の内容は、つぎのとおりです。

▽生活保護のしごと

- ・なにかの事情で、毎日の生活が苦しいかた。
- ・家族のなかに病人がいて、じゅうぶんな治療ができないかた。
- ・不幸にあつて、葬式のさせないかた。
- ・生活の苦しいなかで、なにかのしごとを始めたいとか、修得したいなどというとき、必要な資金がなくこまわっているかた。
- ・小・中学校に在学している児童がいて、学用品、学校用具が買えなく、学校給食費などが支払えないかた。

▽児童福祉のしごと

これらのかたがたには、生活保護法によって、必要な金品が支給されます。

- ・こどもがあつてそのために働かずにでられないような場合、そのこどもを保育所に入所できるような指導する。
- ・母子のみの世帯で、住宅にこまわっている世帯は、母子住宅に入居できるように指導する。
- ・保護者のいないこどもを適当な施設にいれたり、不良化のおそれがあることには、専門の職員が指導し適当な施設に入所できるようにします。

▽身体障害福祉のしごと

童福祉法によっておこなわれます。

- ・身体に障害のあるかた（目がみえない、耳が聞えない、口がきけない、手足が不自由など）で補聴器、義肢、安全つえが必要であるとき、その相談に応じ、そのものにかかる費用を援助します。

▽老人福祉のしごと

これらのかたがたの援護は、身体障害者福祉法によっておこなわれます。

- ・身よりのない、生活にこまわっている老人や病氣のため養護を必要としている老人を適当な施設に入所できるよう指導します。
- ・満七五歳以上の老人のかたには敬老年金の支給をおこなっています。

▽母子福祉のしごと

これら老人のかたがたの援護は老人福祉法によっておこなわれます。

- ・十八歳未満のこどもを扶養し、配偶者のいないかたなどで、自立更正できるよう指導したり、生活の相談をうけ、また生活保障をおこない、母子福祉施設の入所指導もおこないます。

▽精神薄弱者福祉のしごと

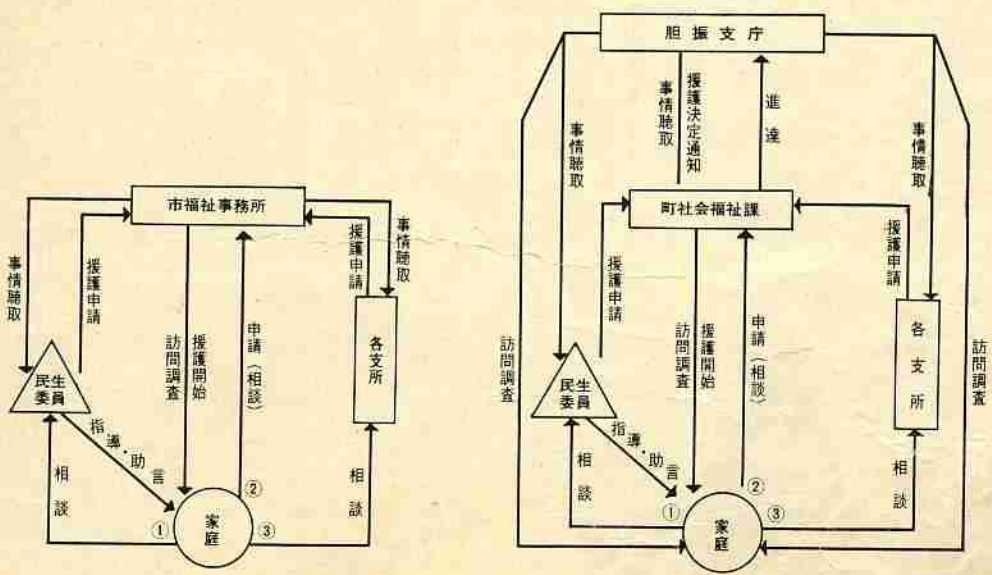
知恵おくれの人たちの更正を援助して、その更正に必要な保護をおこなっていきます。

これら精神薄弱者は精神薄弱者福祉法によって援助されます。

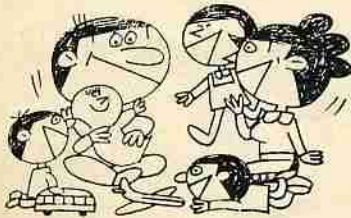
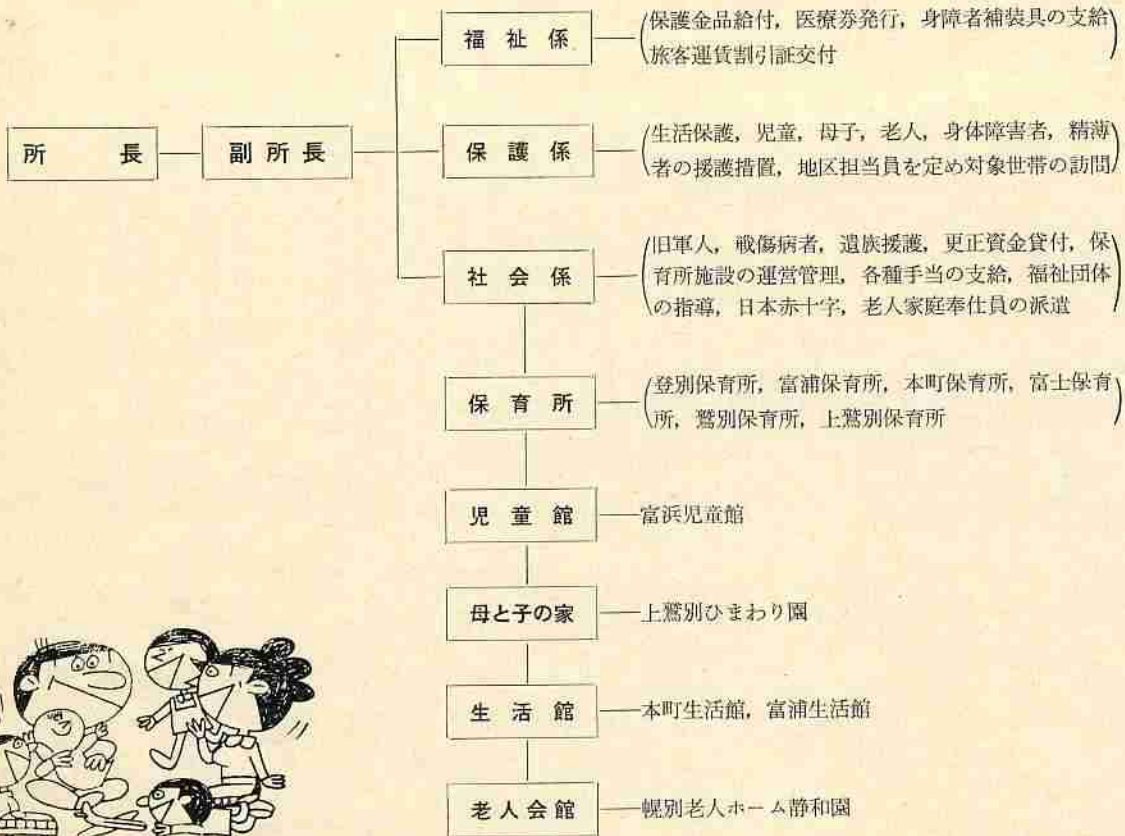
このように変わる福祉事務

(市制後)

(従前)



市福祉事務所のしくみ



きめこまかな福祉で幸せな家庭を

- ・ 中登別、登別、富浦地区
- ・ 真崎博善、吉田正成、宮城キエ、志賀典重、坂本とし
- ・ 幌別、米馬、川上、鉦山、札内千歳地区
- 柳川常男、高橋美章、赤松秀治郎
- 中山トキ、高橋末吉、小塚正太郎
- 平塚光雄、河野敏文、藤江ミドリ
- 小幡徳博、桐木正晴、山口とめ、伴野三四、土屋正夫、山本 栄、津村柳二、佐藤トキ、武者千代治
- 多田 弘、高柳久雄、松下音七
- ・ 鷺別、上鷺別、富岸地区
- 東条喜平、立野たか、渋谷大一郎
- 中島勝寿、篠原幸盛、工藤角藏、内田利春

民生委員

民生委員は、必要に応じて生活に困っている人、身体に故障のある人、問題のある児童、精神障害のある家庭、ねたきり老人の家庭あるいはいろいろな相談をうけその家庭を訪問し、指導、助言、援護をおこなっていきます。

また、民生委員は地区住民のなかに生活に困る人や心配ごとなどがある人などの相談相手となり、福祉事務所と社会福祉主事に協力する民間の社会奉仕者です。

各地区の民生委員

各地区の民生委員は、つぎのとおりです。

心配ごとなどがありますときは気軽に相談してください。

- ・ カルス、温泉地区
- 日野謙一、鹿内正敏、菊地敏雄、小林クニ

心配ごと相談所をご利用ください

1 日 登 民 会 館 } 午後1時
 毎 月 10 日 幌 別 生 活 館 }
 20 日 鷺 別 公 民 館 }

生活、医療、住宅、家事などどんな小さなことでも、気軽にご相談ください。

町 最後の議会

1億80,960千円追加

第2回定例議会

「町」最後の議会
(第二回、定例議会)
は六月二四、二五、二六の三日間、開かれま
した。

二四日は、五月一五、
二二日と六月一六日実
施した出納検査の監査
報告で、出納事務は正
確におこなわれている
との報告がされたほか
報告十一件、幌別郡登
別町を登別市とするこ
とについての議案一件
がそれぞれ審議され、
そのあと一般質問があ
りました。

二五日は前日に引続
き一般質問と一般会計
補正予算、登別町の字
の名称変更、登別市福
祉事務所設置条例の設定など議案
十一件が審議されました。

二六日は都市計画審議会条例の
設定についてなど、議案七件、幌
別(新日鉄社宅)第四浴場存続に
関する請願など二件、そのほか、
市制施行行事など協議案三件、決
議案三件が審議されました。
三日間の審議されたおもなものは
つぎのとおりです。

本会議時間は一時から五時

議会運営特別委員の結果報告

能率的な運営をはかることを協議

は議会の運営(議会の円満かつ、
し、議会の会期および議事日程、
議事進行、議会のおこなう選挙、
議長との諮問したことなどを協議す
る)について、四月二二日より二
回にわたり委員会を開き、道内都
市の議会運営の状況を調査するな
ど、慎重に審議したと議会運営委
員長より報告されました。

この報告は議案として上程され
るとくにそのなかで、本会議の会議
時間は午後一時から五時まで(今
までの会議時間は午前十時から午
後四時まで)となりました。

議員定数は現行の二六名

ことし第一回の定例町議会にお
いて付託されました議会議員の
定数については四月一〇日から四
回にわたって総務委員会を開き、
慎重に審査した結果、議員定数は
現行の二六名とする報告がされま
した。

これは、地方自治法に規定され
ておりますが、登別町の特長性、
あるいは能率行政、または住民と
の調和を考え、自主的判斷にもと
づいて決定するものと考えられ、
法定数は三十名ですが、昭和二六
年から条例によって四名減員し現
在にいたっています。この間、議
会の運営あるいは、住民意志の反
映にとくに支障がな

れなく、現在、町の客観状況から
判断して現行の二六名については
今回これを改訂する必要はないと
の報告がされ了承を得ました。

一般会計補正予算

一億八千九百六十千円を追加し、
総額一億八千四百九十千円と
なりました。

- 補正のおもなものは、登別富浦
線通学路歩道舗装新設事業費、一
〇二千円(追加)、生活保護者扶
助費、八千八百一〇八千円(追加)
じん芥収集車購入費、九七五千円
(追加)、町道補修工事費、一、五
〇〇千円(追加)、公営住宅建設
事業費、五、一六六千円(追加)
化学消防自動車購入費、七、一三
六千円(追加)、警別中学校周辺
環境整備工事費、一、二〇〇千円
(追加)、全国中学校放送送陸上競技
大会助成金、二〇〇千円(追加)
町営陸上競技場整備工事費、六〇
〇千円(追加)、富岸川河川災害
復旧事業費、二千六、八〇〇千円
(追加)

一般質問

二四日、二五日の二日間、町政
について六名の議員から一般質問
が活発におこなわれました。
質問のおもな内容はつぎのとおり
です。

問 新日鉄社宅附近の老人は会合
を開く場所がなく、場所を借り
ておこなっている現状である。
その老人福祉と施設などの対策
をどのように考えているか。

答 全町的に老人いこいの家を建
設し、肉體福祉と精神福祉の両
面から進めておりますが、その
地区の老人のかたについては、
来年、町に移管になる幌別会館
を整備し、附近老人の福祉に利
用したい。

問 工場設置奨励条例は税負担上
の問題など、町の発展に寄与す
るとは思われない、廃止する考
えはないか。

答 経済の高度伸長がないがぎり
住民の生活向上はありえない。
工場誘致条例を廃止する考えは
ない。しかし工場の新設により
住民の生活がよくなる反面、あ
らゆる公害等が考えられるので
生産と生活の調和を充分考慮の
うえ改正したい。

問 児童福祉法による、入院助産
制度の予算化とそれにともなう
指定病院についての考えはない
か。

答 市制にともなう、福祉事務
所による福祉行政がさらに進め
られるが、入院助産制度につい
ては医療機関ともじゅうぶん協
議の上、早い機会に具体化させ
たい。

問 年々カルルス温泉の来泉客が
減少しているが、医療施設の誘
致を考えてはどうか。

答(冬期間は二六万人のスキー客
などが来泉しているが、夏の来
泉客は減少の傾向にある。そこ
で、温泉地区総合整備計画専門
委員によって将来の観光開発計
画を

療養園を主体とした温泉にした
い、また、現在誘致中であり明
年は実現しそうである。

問 全国的に種痘接種の副作用に
よる後遺症があるが、町でその
ような被害者がたて場合の保障
をどのように考えているか。

答 当町は東芝化学工業の一九九
番を使用しているので問題はな
いと思うが、もし副作用がた
ときは、医師会、道、保健所と
協議の上、万全の策をとりたい
問 各小中学校の全教室にテレビ
を設置する考えはないか。

答 テレビは一部備えつけている
が、このことについて教育委員
会において検討中であるので、
各教室にテレビを備えることは
できるだけおこなっていきた
い。

町の人口

6月末現在	
総人口	46,020 (165増)
男	23,321 (82増)
女	22,699 (83増)
世帯数	12,650 (62増)
()内は先月との増減	